

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2022年4月15日 第362号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

ロシアはいますぐ、侵略やめろ



世界で広がる侵略への抗議、ウクライナ支援

土浦憲法共同センター、九条の会、新婦人、共産党などが連鎖行動

世界平和への無謀な挑戦、ロシアのウクライナ侵略は一般市民の殺戮の事実が明るみになるにともない、世界各地での激しい怒りの声と抗議行動を広げています。

土浦市内でも、憲法共同センターの九団体共同行動、新婦人土浦の皆さんの7回(4/9まで)に及ぶ抗議スタンディング、土浦九条の会の交差点アピール、日本共産党土浦地域支部の連続カンパ活動・駅頭抗議行動など、多彩な行動が取り組まれています。

「土浦平和の会」も、これらの行動に賛同し、「侵略やめろ」の声を上げています。



(上下写真) 憲法共同センターの抗議アピール行動



憲法改悪を許さない全国署名

ウクライナ問題をねじ曲げた九条改憲や軍備拡大の危険な動きが強まっています。全国署名のテンポを急速に早めることが必要です。もう一まわり二まわりと署名を広げてください。

■ 第2次締め切り 4月28日



次回行動は4月19日

4月街頭アピール 行動

ロシアはウクライナから撤退を！
核の脅し、許さないぞ！
9条守れ、憲法生かせ！

4月19日(火) 午前10時～
ケーズデンキ真鍋店前

思い思いの
メッセージ・ブ
ラカードをもっ
てふるってご参
加ください。

憲法連続講座 第3回のご案内 ZOOM土浦教室へどうぞ

飯田美弥子弁護士(うぶすな法律事務所(日立市))の憲法話しにおおいに学びましょう。お声かけの上ご参加ください。

■ 第3回講座 土浦教室

テーマ：

「憲法・・・国家権力の横暴を止めるもの」

日時： 4月23日(土)午後2時～4時

場所： ワークヒル土浦 特別会議室

※ 参加料無料

会員、非会員を問わず誘い合ってお気軽に、ご参加ください。自宅での視聴希望の方は連絡ください。

以後の予定

■ 第4回 5月28日(土)

「戦争は個人の尊厳の最大の敵」

4回目の土浦教室会場は、追ってお知らせします。

第1回・第2回講座の様子はYouTubeで配信中。(※「飯田美弥子憲法講座」で検索してください)

今年の「5・3憲法フェスティバル」 つくば市で開催されます

スローガン

「憲法は希望と平和の羅針盤」

5月3日(火/祝)

12:30開場/13:30開会/16:00閉会

会場：つくば国際会議場 ※会場内マスク着用・手指の消毒・他の人との距離の確保にご協力を。

記念講演
憲法と学術と平和～学術会議任命拒否問題から見えるもの～

岡田 正則 さん

早稲田大学 大学院法務研究科教授

岡田正則教授は、日本学術会議会員の任命を拒否された6人の中の1人です。「安保法案の廃止を求める早稲田大学有志の会」呼びかけ人。著書多数



《ロビー企画》 《ステージ企画》

- 憲法川柳展
- 憲法絵手紙展
- 沖縄物産展
- 原爆パネル展

ギターとヴァイオリンのデュオ

ギター:稗田隼人 ヴァイオリン:内山燕子



《連帯企画》

- 沖縄からのメッセージ

特別出演決定！

カテリーナ さん

ウクライナの民族楽器バンドウーラ奏者・歌手



カテリーナ (Kateryna)

ウクライナ生まれ。生後30日の時にチェルノブイリ原発事故に被災。一家は町から強制退去。

6歳の時、被災した子供たちで構成された音楽団に入団、海外公演に多数参加。19歳で音楽活動の拠点を東京に。現在、日本に2人しかいないバンドウーラ奏者の一人。メディアにも多数出演。

(ユーチューブで見られます)

土浦上映会ご案内



と き：2022年 5月8日 (日)

■1回目：午前10:30～

■2回目：午後2:00～

ところ：

クラフトシビックホール土浦 小ホール
(土浦市民会館)

主催：土浦上映実行委員会

軍拡と反戦運動敵視は同根

ロシアのウクライナ侵略に思う

侵略、民間人虐殺への憤りが収まらない毎日です。今の世になぜプーチンのような人間が出現するのか。

日本の現状と照らし合わせて考えると、決して他人ごとではない事実に至ります。

■まずは戦争法の強行に連動した米国との軍事一体化です。安倍政権以後、10年連続の軍事費増額。そして、ウクライナ侵略に乗じて、「敵基地攻撃」「核共有」など九条を葬り去ろうという議論が高まっています。

■国民の耳目をふさぎ、反戦集会を弾圧するプーチン政権と同じ事態が日本にあることが国会で暴露されました。

陸上自衛隊発行の文書で、「『反戦デモ』は敵」と明記されていたのです。穀田共産党議員の追求に慌てた防衛副大臣は「誤解を招く表現だったので「暴徒化したデモ」という表現に文書修正した」と答弁しました。しかし、修正したとされた8ヶ月後に元の文書のまま使われていることが発覚。防衛副大臣の“真っ赤なウソ”が明らかになったのです。まさにプーチンの所業が他人事ではないことを示しています。

9条をはじめとする憲法の諸規定を守ることこそ、平和への確かな道であることを実感する毎日です。

(土浦平和の会理事 大滝 誠)

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

